

教科名	国語	科目名	現代の国語	単位数	2
開講時期	通年・半期	履修区分	必修・選択	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	596円	副教材・実習費	あり(500)円程度・なし
受講をする上での注意	「言語文化」とともに必修科目であり、両方履修成立しないと他の国語科目を選択できません。				
学習目標	<p>実社会に必要な知識や技能を身に付けるようにする。 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりすることができるようにする。 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。			学習活動における発言内容 ノート プリント ワークシート 定期考査	
思考力・判断力・表現力等	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域を学習し、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広めたり深めたりしている。			学習活動における発言内容 ノート プリント ワークシート 定期考査 レポート・感想文の作成した文章	
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。			学習活動への参加姿勢や態度 ノート プリント ワークシート	
学期	学習内容・方法(予定)				
通年	半期				
前期中間	中	教材「目指す世界の地図を作る」の書き手の意図を踏まえ、情報収集を行い、自分が目指す地図を作ってみよう。 教材「時間とは何か」における文章の展開を把握し、時間に対する筆者の考え方を工夫して表現してみよう。			
前期期末	間	「話し言葉の技術」について学ぼう。 教材「水の東西」を読み取り、身の回りで対比されているものについて調べ、整理して説明してみよう。 教材「世間話はなぜするか」を参考にコミュニケーションと言葉について考え、世間話や挨拶の効用について発表してみよう。			
後期中間	期	「書き言葉の技術」について学ぼう。 日常の中の文章について学び、写真を文章で説明したり広告コピーを書いたりしてみよう。 教材「コインは円形か」を参考に言葉の働きをとらえ、実際にレトリックを用いて事象を紹介してみよう。			
後期期末	末	教材「科学と非科学」等における書き手の考えを比較し、根拠を明確にして自分の意見を書いてみよう。 教材『「差」という情報』等を参考にして、根拠を明確にした文章を書こう。 社会の中の文章について考えを深め、SDGsと関連付けて解決に向けた活動をポスターにしたり、商品レビューを書いてみたりしよう。			

教科名	国語	科目名	言語文化	単位数	2
開講時期	通年・半期	履修区分	必修・選択	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	743円	副教材・実習費	あり(〇円程度)・なし
受講をする上での注意	「現代の国語」とともに必修科目であり、両方履修成立しないと他の国語科目を選択できません。				
学習目標	<p>生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。			学習活動における発言内容 ノート プリント ワークシート 定期考査	
思考力・判断力・表現力等	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。			学習活動における発言内容 ノート プリント ワークシート 定期考査 レポート、感想文の作成した文章	
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。			学習活動への参加姿勢や態度 ノート プリント ワークシート	
学期	学習内容・方法(予定)				
通年	半期				
前期中間	中	教材「とんかつ」を読み、その叙述をもとに登場人物の心情を読み取ろう。「宇治拾遺物語」を活用して、必要な文語の決まりなどを理解し、古文の世界を読み味わおう。格言についてそれがどのような場面で用いられているかを考えることで、日本語の中に生きる漢文についての理解を深めよう。			
前期期末	間	教材「舟を編む」を参考にし、ことばを吟味して自分の辞書を作ってみよう。「徒然草」や「故事成語」を学び、現代にも生きる教えについて考えを深めよう。受け継がれる古典として「今昔物語集」と「羅生門」の読み比べを行い、その違いについて話し合おう。			
後期中間	期	言語文化への理解を深めるために様々な時代、様々なジャンルの詩歌を味わい、テーマごとにまとめて感じたことを発表してみよう。「名人伝」等を読み、和漢混淆文などの文体の魅力について考えよう。「伊勢物語」を読んで時代背景を調べ、昔と変わらない人の心について考えたことを、より明確にして表現しよう。			
後期期末	末	「論語」を読み、孔子の考え方について理解しよう。記録する文学として「沖縄の手記から」を読み、戦争についての理解を深め、「平和」に対する考えをもとう。			

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	単位数	2
開講時期	通年 (半期)	履修区分	(必修)・選択	履修年次	1年次
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	732円	副教材・実習費	あり()円程度・(なし)
受講をする上での注意	授業への参加と教師からの発問に対して積極的に返答するなど、生徒自身が主体的に授業に参加してください。				
学習目標	社会的事象の歴史的な見方や考え方を働かせることで、生徒各自が課題を追究したり解決したりする活動を通じて歴史的知見を広める。また、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会で主体的に生活するために、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	近現代の歴史に関わる諸事象について学習することで、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉える。現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、様々な資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的に調査しまとめることができる。			定期テスト ノートの提出 プリントの提出	
思考力・判断力・表現力等	近現代の歴史の変化に関わる事象や意義、特色などを、時代背景や推移を相互に比較することで現在とのつながりに着目することができる。また、近現代の歴史的な概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決の糸口を議論することができる。			定期テスト ノートの提出 プリントの提出	
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。			課題の提出 発表	
学期		学習内容・方法 (予定)			
通年	半期				
前期 中間	中 間	A 歴史の扉 (1) 「歴史と私たち」 (2) 「歴史の特質と資料」 遺物、文書、画像などの資料を活用して、歴史的に持つ意味や意義、特色などを考察して表現し、歴史が資料に基づいて叙述されていることを理解する。			
前期 期末		B 近代化と私たち (1) 「近代化への問い」 (2) 「結び付く世界と日本の開国」 (3) 「国民国家と明治維新」 (4) 「近代化と現代的な諸課題」 歴史的な見方・考え方を活用しながら、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、近代国家の形成を理解する。			
後期 中間	期 末	C 国際秩序の変化や大衆化と私たち (1) 国際秩序の変化や大衆化への問い (2) 第一次世界大戦と大衆社会 (3) 経済危機と第二次世界大戦 (4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 戦争や恐慌での社会情勢を学習することで、社会の変容や大衆社会の形成などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際秩序と大衆社会の形成について理解する。			
後期 期末		D グローバル化と私たち (1) 「グローバル化への問い」 (2) 「冷戦と世界経済」 (3) 「世界秩序の変容と日本」 (4) 「現代的な諸課題の形成と展望」 歴史総合の学習のまとめとして、歴史的な事象の理解と持続可能な社会の実現のために、諸資料を活用し探究する活動を通して、現代的な諸課題を理解する。			

教科名	公民	科目名	公共	単位数	2
開講時期	通年(半期)	履修区分	(必修)・選択	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	687円	副教材・実習費	あり(0円程度)(なし)
受講をする上での注意	授業への参加と教師からの発問に対して積極的に返答するなど、生徒自身が主体的に授業に参加してください。				
学習目標	<p>現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる。</p> <p>現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を入れながら構想したことを議論する力を養う。</p> <p>よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。</p>				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解している。倫理的主体として活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べることができる。さまざまな基本原理について理解している。			定期考査 ノートづくり プリントの課題に対する取り組み	
思考力・判断力・表現力等	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断することができる。ものごとに対し合意形成や社会参画を視野に入れながら構想することができる。			定期考査 ノートづくり プリントの課題に対する取り組み	
主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。知識及び技能を獲得しようとする努力することができる。思考力、判断力、表現力等を身に付けている。			発表や取り組む態度 プリントの課題に対する取り組み	
学期		学習内容・方法(予定)			
通年	半期				
前期 中間	中 間	<p>第1部 公共の扉</p> <p>第1章 社会で生きるということ 青年期の課題や人間が社会的存在であることについて知る 社会について多面的・多角的に考える</p> <p>第2章 みんなが幸せな社会とは 個人や社会全体の幸福について考える</p> <p>第3章 公共的な空間における基本原理 人間の尊厳と平等、個人の尊重について理解する 法の支配について理解する</p>			
前期 期末		<p>第2部 よりよい社会の形成と参画</p> <p>第1章 私たちの生活と法 日本国憲法について理解する</p>			
後期 中間	期 末	<p>第2章 私たちの生活と政治 日本の統治機構について理解する</p> <p>第3章 平和主義と日本 平和主義について学び、平和な社会について考える</p> <p>第4章 私たちの生活と経済 経済の基礎的な概念について理解する</p> <p>第5章 私たちの生活と国際社会 国際社会と国家の在り方について学び理解する</p>			
後期 期末					

教科名	数学	科目名	数学 I	単位数	3
開講時期	通年・半期	履修区分	必修・選択	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	785円	副教材・実習費	あり()円程度・なし
受講をする上での注意	特になし				
学習目標	<p>数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。</p> <p>事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を身に付ける。</p>				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	<p>数と式、2次関数、図形と計量、集合と命題及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。</p> <p>数と式、2次関数、図形と計量、集合と命題及びデータの分析における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。</p>			<p>単元テスト 小テスト 定期考査</p>	
思考力・判断力・表現力等	<p>数と式、2次関数、図形と計量、集合と命題及びデータの分析において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。</p>			<p>単元テスト 小テスト 定期考査</p>	
主体的に学習に取り組む態度	<p>数と式、2次関数、図形と計量、集合と命題及びデータの分析における考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断できる。</p>			<p>授業中の発言 授業へ臨む態度 自己評価 課題・提出物の状況 ノート・プリント</p>	
学期		学習内容・方法 (予定)			
通年	半期				
前期 中間	中	<p>【 第1章 数と式 】</p> <p>第1節 数と式の計算 多項式の加法・減法・乗法・展開公式、因数分解</p> <p>第2節 実数 数の体系についての理解を深める。</p> <p>第3節 方程式と不等式 1次方程式の解を求める。不等式の性質をもとに、1次不等式の解を求める。</p>			
前期 期末	間	<p>【 第2章 2次関数 】</p> <p>第1節 2次関数とそのグラフ 2次関数のグラフの特徴について理解する。</p> <p>第2節 2次関数の値の変化 2次関数の値の変化についてグラフを用いて考察する。</p>			
後期 中間	期	<p>【 第3章 三角比 】</p> <p>第1節 鋭角の三角比 正弦、余弦及び正接の意味、三角比の相互関係などを理解する。</p> <p>第2節 三角比の応用 日常の事象や社会の事象などを数的に捉え、三角比を活用して問題を解く。</p>			
後期 期末	末	<p>【 第4章 データの分析 】</p> <p>目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を考察する。</p> <p>【 第5章 集合と論証 】</p> <p>集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それらを用いて論理的に考察し表現する。</p>			

教科名	数学	科目名	基礎数学	単位数	2
開講時期	通年・(半期)	履修区分	必修・(選択)	履修年次	1年次以上
授業難易度	★☆☆☆	教科書代金(予定)	なし	副教材・実習費	あり(円程度)・(なし)
受講をする上での注意	特になし				
学習目標	<p>数学の基礎知識や計算を身に付ける事に焦点を当て、計算および数学的な思考を通して、量や図形等の各分野についての理解を深める。 数学の楽しさや数学的な見方や考え方のよさを知り、進んで活用する態度を身に付ける。</p>				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	<p>数量や図形についての豊かな感覚を持ち、それらの意味や性質などについて理解している。 また、数学的な表現や処理に関わる技能を身に付けている。</p>			提出レポートの内容 提出ノートの内容	
思考力・判断力・表現力等	<p>日常の事象を数理的にとらえ、見通しを持ち筋道立てて考え表現し、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けている。</p>			提出レポートの内容 提出ノートの内容	
主体的に学習に取り組む態度	<p>数理的な事象に関心を持つとともに、数学的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとしている。</p>			授業中の発言 授業へ臨む態度 自己評価	
学期		学習内容・方法(予定)			
通年	半期				
前期 中間	中 間	<p>四則演算 整数の加減乗除、小数の計算、分数の計算、計算の順序、正負の数</p> <p>複雑な計算 文字式、多項式の展開、多項式の因数分解、代入の計算、無理数の計算</p>			
前期 期末					
後期 中間	期 末	<p>方程式の解法 1次方程式の解法、2次方程式の解法、</p> <p>関数とグラフ 1次関数、2次関数</p> <p>単位のついた計算 単位の換算、時間や量の計算、割合の考え方と比の計算、速さの計算、文章題</p>			
後期 期末		<p>面積と体積 三角形と四角形の面積、円の面積、直方体の体積、錐体の体積、球の体積と表面積</p>			

教科名	理科	科目名	科学と人間生活	単位数	2
開講時期	通年・半期	履修区分	選択必修履修科目	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	740円	副教材・実習費	あり()円程度(な)
受講をする上での注意	日常生活における科学技術、身近な自然現象への興味・関心を持っていることが大切。				
学習目標	日常生活と社会の中にある事柄の理科全般(物理・化学・生物・地学)との関連について理解を深め、実験や観察を通して科学的に探究する力を養う。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	<p>生命の科学・物質の科学・光や熱の科学・宇宙や地球の科学において、日常生活と自然及び科学技術との関連について理解している。</p> <p>生命の科学・物質の科学・光や熱の科学・宇宙や地球の科学において、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。</p>			<p>単元テスト 定期考査 観察・実験の実習</p>	
思考力・判断力・表現力等	<p>生命の科学・物質の科学・光や熱の科学・宇宙や地球の科学において、日常生活と関連のある自然の事柄や現象の中に問題を見出し、観察・実験・調査などを通して科学的に探究することにより、総合的に判断し、それを表現できる。</p>			<p>単元テスト 定期考査 観察・実験の実習</p>	
主体的に学習に取り組む態度	<p>生命の科学・物質の科学・光や熱の科学・宇宙や地球の科学において、自然の事柄や現象に積極的に関わり、科学的に探究しようとする態度が養われている。</p> <p>生命の科学・物質の科学・光や熱の科学・宇宙や地球の科学において、自然の事柄や現象に興味・関心を高めている。</p>			<p>学習活動への取り組み 課題・提出物の状況</p>	
学期	学習内容・方法(予定)				
通年	半期				
前期中間	中	<p>1編 生命の科学 ※1章と2章のいずれかを選択して学ぶ。</p> <p>1章 微生物とその利用 ①さまざまな微生物 ②私たちの暮らしへの微生物の利用</p> <p>2章 ヒトの生命現象 ①ヒトの視覚と光による影響 ②血糖濃度を調節するしくみ ③体を守る免疫のしくみ ③生命現象の大もととなる遺伝子のはたらき</p>			
前期期末	間	<p>2編 物質の科学 ※1章と2章のいずれかを選択して学ぶ。</p> <p>1章 材料とその再利用 ①リサイクルとは何か ②金属の性質とその再利用 ③プラスチックの性質とその再利用</p> <p>2章 衣料と食品 ①衣料の科学 ②食品の科学</p>			
後期中間	期	<p>3編 光や熱の科学 ※1章と2章のいずれかを選択して学ぶ。</p> <p>1章 光の性質とその利用 ①光の進み方とその基本的性質 ②目に見える光と色の見え方 ③見えない光とその利用</p> <p>2章 熱の性質とその利用 ①熱とは何か ②エネルギーの利用と私たちの暮らし</p>			
後期期末	末	<p>4編 宇宙や地球の科学 ※1章と2章のいずれかを選択して学ぶ。</p> <p>1章 身近な天体と太陽系における地球 ①太陽と月がもたらすリズム ②太陽が動かす大気と水</p> <p>2章 身近な自然景観と自然災害 ①身のまわりの景観の成り立ち ②自然災害と防災</p>			

教科名	理科	科目名	生物基礎	単位数	2
開講時期	通年・半期	履修区分	選択必修科目	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	949円	副教材・実習費	あり()円程度・(なし)
受講をする上での注意	特になし				
学習目標	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	自然の事象・現象について基本的概念や原理法則を理解し知識を身に付けている。また、観察・実験等の基本的操作を習得すると共に過程や結果を記録・整理し、科学的に探究する技能を身に付けている。			単元テスト 定期考査 観察・実験の実習	
思考力・判断力・表現力等	自然の事象・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通じて、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。			単元テスト 定期考査 観察・実験の実習	
主体的に学習に取り組む態度	自然の事象・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究しようとすると共に、科学的な態度を身に付けている。			学習活動への取り組み 課題・提出物の状況	
学期		学習内容・方法 (予定)			
通年	半期				
前期 中間	中 間	第1章 生物の特徴 第1節 生物にみられる多様性と共通性 第2節 細胞とエネルギー 第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝子とDNA 第2節 遺伝子の働き			
前期 期末		第3章 生物の体内環境 第1節 体液とその働き 第2節 体内環境を維持するしくみ 第3節 生体防御			
後期 中間	期 末	第4章 植生の多様性と分布 第1節 植生と遷移 第2節 気候とバイオーム			
後期 期末		第5章 生態系とその保全 第1節 生態系と物質循環 第2節 生態系のバランスと保全			

教科名	理科	科目名	地学基礎	単位数	2
開講時期	通年・半期	履修区分	選択必修履修科目	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	946円	副教材・実習費	あり()円程度・なし
受講をする上での注意	特になし				
学習目標	(1) 日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	地球とその内部構造、活動に伴う様々な現象を理解することができる。惑星としての地球、活動する地球、大気と海洋について、観察・実験などを通して探究し、理解することができる。 宇宙の誕生、太陽系の誕生と生命を生み出す条件を備えた地球の特徴とその歴史を理解することができる。 地球規模の環境の変化とその仕組みを理解することができる。			単元テスト 定期考査 観察・実験の実習	
思考力・判断力・表現力等	地球の内部構造や活動、それに伴う諸現象について観察、実験等を通して探究し、相互の関連性を見出し表現することができる。 宇宙の誕生から生命誕生まで、その規則性や関係性を見いだして表現することができる。 地球規模の自然環境に関する資料に基づき、その変化を見出し、仕組みを理解し、人間生活との関わりについて認識することができる。			単元テスト 定期考査 観察・実験の実習	
主体的に学習に取り組む態度	科学的に探究する力を高めようと積極的に取り組むことができる。 観察、実験、調べ学習などの探究の過程を踏まえた学習活動のなかで、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、野外観察、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得することができる。 報告書などを作成したり、発表を行うことができる。			学習活動への取り組み 課題・提出物の状況	
学期	学習内容・方法(予定)				
通年	半期				
前期 中間	中	1章 地球の構成と運動			
		1節 地球の構造	1. 地球の形と大きさ	2. 地表のようす	3. 地球内部の構造
前期 期末	間	2節 プレートの運動	1. プレートテクトニクス	2. 地球の形と大きさ	
		3節 地震と火山	1. 地震活動	2. 火山活動	
		2章 大気と海洋			
		1節 大気と海洋	1. 高度による気圧・気温の変化	2. 大気の状態	3. 大気中の水とその状態
後期 中間	期	2節 大気の大循環	1. 地球のエネルギー収支	2. 大気の大循環	3. 大気の状態
		3節 海洋の構造と海水の運動	1. 海洋の層構造	2. 海水の運動と循環	3. 大気の状態
		4節 日本の四季の気象と気候	1. 気象と気候	2. 日本	3. 大気の状態
		3章 宇宙、太陽系と地球の誕生			
後期 期末	末	1節 宇宙の誕生	1. 宇宙の姿	2. 天体の距離と光速	3. ビッグバンから天体の誕生まで
		2節 太陽の誕生	1. 現在の太陽	2. 太陽の誕生	
		3節 惑星の誕生と地球の成長	1. 太陽系の姿	2. 太陽系の誕生と惑星の分類	
		4章 古生物の変遷と地球環境の変化			
後期 期末	末	1節 地層のでき方	1. 地層のでき方	2. 堆積岩	3. 地層を調べる
		2節 化石と地質時代の区分	1. 化石	2. 地層の対比と地質時代の区分	
		3節 古生物の変遷と地球環境	1. 先カンブリア時代	2. 古生代～中生代	3. 新生代
		5章 地球の環境			
後期 期末	末	1節 日本の自然環境	1. 日本列島	2. 自然災害と防災・減災	
		2節 地球環境の科学	1. 環境問題と自然変動	2. 気候変動	3. 物質循環 4. 人間生活の影響

教科名	保健体育	科目名	体育①	単位数	2
開講時期	通年・半期	履修区分	選択必履修科目	履修年次	1年次
授業難易度	★☆☆☆	教科書代金(予定)	保健で購入済み	副教材・実習費	あり()円程度・なし
受講をする上での注意	運動着, 校舎用運動靴着用。爪を短く整え, 付け爪やアクセサリ類を外す。				
学習目標	<p>各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに, 技能を身に付ける。</p> <p>運動や健康についての自他や社会の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて思考し判断するとともに, 他者に伝える力を養う。</p> <p>生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	<p>運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な知識や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための科学的知識及び運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。</p> <p>また, 個人及び社会生活における健康・安全について, 課題解決に役立つ知識や技能を身に付けている。</p>			小テスト スキルテスト	
思考力・判断力・表現力等	<p>自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫し, それらを表現している。</p> <p>また, 個人及び社会生活における健康課題を発見し, その解決を目指して, 総合的に考え, 判断し, それらを表現している。</p>			振り返りシート 自己評価カード	
主体的に学習に取り組む態度	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p>			授業に臨む態度・発言・準備 片付けへの協力	
学期					
通年	半期				
前期中間	中 間	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動 ・バドミントン ・器械運動(マット運動) ・体育理論Ⅰ <p>※種目については生徒の実態や人数に応じて変更の可能性あり</p>			
前期期末		<ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン ・器械運動(マット運動) ・体育理論Ⅱ <p>※種目については生徒の実態や人数に応じて変更の可能性あり</p>			
後期中間	期 末	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール ・卓球 ・体育理論Ⅲ <p>※種目については生徒の実態や人数に応じて変更の可能性あり</p>			
後期期末		<ul style="list-style-type: none"> ・選択 ・体育理論Ⅳ <p>※種目については生徒の実態や人数に応じて変更の可能性あり</p>			

教科名	保健体育	科目名	体育E	単位数	1
開講時期	通年・ 半期	履修区分	選択必修履修科目	履修年次	1年次
授業難易度	★☆☆☆	教科書代金(予定)	保健で購入済み	副教材・実習費	あり()円程度・ なし
受講をする上での注意	運動着, 校舎用運動靴着用。爪を短く整え, 付け爪やアクセサリ類を外す。				
学習目標	<p>各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに, 技能を身につける。</p> <p>運動や健康についての自他や社会の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて思考し判断するとともに, 他者に伝える力を養う。</p> <p>生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し, 明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	<p>運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な知識や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための科学的知識及び運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。</p> <p>また, 個人及び社会生活における健康・安全について, 課題解決に役立つ知識や技能を身に付けている。</p>			小テスト スキルテスト	
思考力・判断力・表現力等	<p>自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫し, それらを表現している。</p> <p>また, 個人及び社会生活における健康課題を発見し, その解決を目指して, 総合的に考え, 判断し, それらを表現している。</p>			振り返りシート 自己評価カード	
主体的に学習に取り組む態度	<p>運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう, 運動の合理的, 計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。</p>			授業に臨む態度・ 発言・準備 片付けへの協力	
学期		学習内容・方法 (予定)			
通年	半期				
前期中間	中 間	<p>選択①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールやサッカーなどのゴール型スポーツ ・バレーボールやバドミントン, 卓球などのネット型スポーツ ・ハードル走や器械運動などの個人型スポーツ <p>から選択</p>			
前期期末		<p>選択②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールやサッカーなどのゴール型スポーツ ・バレーボールやバドミントン, 卓球などのネット型スポーツ ・ハードル走や器械運動などの個人型スポーツ <p>から選択</p>			
後期中間	期 末	<p>選択③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールやサッカーなどのゴール型スポーツ ・バレーボールやバドミントン, 卓球などのネット型スポーツ ・ハードル走や器械運動などの個人型スポーツ <p>から選択</p>			
後期末		<p>選択④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールやサッカーなどのゴール型スポーツ ・バレーボールやバドミントン, 卓球などのネット型スポーツ ・ハードル走や器械運動などの個人型スポーツ <p>から選択</p>			

教科名	保健体育	科目名	保健A	単位数	1
開講時期	通年・ 半期	履修区分	必修 選択	履修年次	1年次以上
授業難易度	★☆☆☆	教科書代金(予定)	701円	副教材・実習費	あり (860)円程度・なし(予定)
受講をする上での注意	特になし				
学習目標	<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	現代社会と健康及び安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して各単元についての理解を深めているとともに、技術を身に付けている。			定期考査 小テスト 単元テスト	
思考力・判断力・表現力等	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。			定期考査 課題プリント 授業中の発言 小テスト	
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組んでいる。			授業に取り組む姿勢 発言・自己評価	
学期		学習内容・方法(予定)			
通年	半期				
前期中間	中間	<ul style="list-style-type: none"> ●現代社会と健康 <ul style="list-style-type: none"> ・健康の考え方 ・現代社会の感染症とその予防 ・生活習慣病などの予防と回復 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・精神疾患の予防と回復 			
前期期末					
後期中間	期末	<ul style="list-style-type: none"> ●安全な社会生活 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な社会づくり ・応急手当 			
後期期末					

教科名	芸術	科目名	音楽Ⅰ	単位数	2
開講時期	○通年・半期	履修区分	選択必修履修科目	履修年次	1年次以上
授業難易度	★☆☆☆	教科書代金(予定)	478円	副教材・実習費	○あり(200)円程度・なし
受講をする上での注意	特になし				
学習目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深めることができる。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	作曲家の生涯と音楽を楽曲の文化的、歴史的背景から特徴を理解し、また、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解し、鑑賞することができる。ギター演奏を通して、音階とコードの習得ができ、アンサンブル演奏ができる。音素材の特徴を生かし、反復、変化、対象などの構成を工夫して、イメージを持って音楽を作ることができる。			実技	
思考力・判断力・表現力等	様々な表現形態による歌唱の特徴と表現上の効果と関わりを理解し、表現を工夫し、歌うこと、創作すること、楽器を演奏することができる。曲想を楽曲の背景と関わらせて理解し、表現を工夫して歌うこと、演奏すること、創作することができる。			実技	
主体的に学習に取り組む態度	自ら音楽の時代背景や様々な音楽分野に興味、関心を抱き、積極的に知識の習得と目標に向かい取り組み、生活や授業の中で応用することができる。			実技	
学期		学習内容・方法(予定)			
通年	半期				
前期中間	中	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱：音楽の基礎である合唱曲を学ぶ。 ・鑑賞：作曲家の生涯と音楽を映画から学ぶ。 ※楽譜の読み方等の楽典的事項は随時習得する。 ・キーボードに触れる 			
前期期末	間	<ul style="list-style-type: none"> ・日本歌曲、ビートルズ等 ・ギター、音階の練習 ・歌舞伎や声明などの日本の伝統芸能や音楽について学ぶ。 ・キーボードメロディー練習 			
後期中間	期	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱：イタリア歌曲、ミュージカル音楽 ・器楽：ギター、コードの習得 ・鑑賞：世界の諸民族の音楽に親しむ。オペラ鑑賞 ・キーボードで和音練習 			
後期期末	末	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱：日本歌曲、ドイツ語歌曲 ・アンサンブル：クラッピングによるリズムアンサンブル ・鑑賞：ミュージカル鑑賞 ・キーボードを使ってアンサンブル演奏 			

教科名	芸術	科目名	美術 I	単位数	2
開講時期	○通年・半期	履修区分	選択必修履修科目	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	1069円	副教材・実習費	○あり(2000)円程度・なし
受講をする上での注意	汚れても大丈夫な格好で受講することが望ましい。				
学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を身に付ける。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	教えられた、あるいは個人の持ち得る表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して表現しようとしている。意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができる。			作品の構想 道具の使い方 クロッキー	
思考力・ 判断力・ 表現力等	絵画や彫刻において、感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成することができる。デザインにおいて、目的、機能、美しさなどを考えて主題を生成することができる。			作品の仕上がり 作品に対するコンセプト	
主体的に学習に 取り組む態度	授業中、集中して制作に取り組んでいる。美術作品などの良さや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、理解を深めることができている。自然と美術とのかかわり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、理解を深めることができている。			自身の制作への取り組み 他者の作品への興味や理解の様子	
学期		学習内容・方法(予定)			
通年	半期				
前期 中間	中 間	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・クロッキー ・絵画：身近なものを描く 			
前期 期末		<ul style="list-style-type: none"> ・彫刻：ねんどを用いて手像をつくる ・絵画模写 			
後期 中間	期 末	<ul style="list-style-type: none"> ・写真、絵画 構図を考えて抽象画を撮る、構図を考えて風景画を描く 			
後期 期末		<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン お菓子のパッケージデザインを考える 			

教科名	芸術	科目名	書道 I	単位数	2
開講時期	通年・半期	履修区分	選択必修履修科目	履修年次	1年次以上
授業難易度	★☆☆☆	教科書代金(予定)	498円	副教材・実習費	あり(4000)円程度・なし
受講をする上での注意	書道の技術を習得したい人。				
学習目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに感性を高め、書写能力の向上を目指し、表現と鑑賞の基本的な能力を伸ばして、書の伝統と文化についての理解を深める。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	仮名交じり書、漢字、仮名の書、それぞれに対して用具用材の特徴を理解し、適切に扱うことや古典に基づいた点画や意図に基づく表現を工夫の上構成することができる。 漢字仮名交じり書に関しては、漢字と仮名の調和した線質の表し方を習得することができる。 鑑賞に関しては、漢字の書体の変遷や仮名の成立を理解し、見ることを楽しみ、書的美しさと表現効果を味わい感じることができる。 日本と中国などの文字と書の伝統と文化を理解することができる。			実技	
思考力・判断力・表現力等	芸術や実用書を書くときに、漢字と仮名の調和が目的によって、その表現が様ではないことを理解し、判断して構想する思考をもつ工夫をしつつ書くことができる。			実技	
主体的に学習に取り組む態度	書への関心を持ち、その効用を理解して、楽しみ味わい、生涯のプラスになるように積極的な方向にむいているかどうか。			実技	
学期	学習内容・方法 (予定)				
通年	半期				
前期中間	中	書写から書道へ移行がスムーズにいくよう楷書から学びます。まず小筆で校歌を書きます。次に書的美には単に整っているだけではない古典があることを知ってもらい臨書します。九成宮醜泉銘、牛橛像造記の臨書と鑑賞をします。			
前期期末	間	書の古典より楷書の鄭羲下碑、雁塔聖教序、顔氏家廟碑、孔子廟堂碑の臨書と鑑賞。それぞれの筆使いや造形の違いを学びながら書風の違いを書き分けます。			
後期中間	期	行書の古典の蘭亭序、空海の手紙である風信帖を鑑賞、臨書するとともにそれぞれのエピソードを紹介します。曹全碑の臨書によりその特徴を知りあまり日常的でない隸書体が現代にも使われている例を示します。三筆、三蹟についてはそれぞれの名前を書いて覚え、かつ三筆については臨書します。			
後期期末	末	始めに仮名の筆の扱い方や墨のすり方を学びます。硯の使い方を再確認し墨をすって仮名の基本線から書き始めます。万葉仮名、草仮名、カタカナについて変遷を知り仮名の成り立ちや使用例を学びます。いろは、変体仮名、連綿を書き、書道Ⅱへの準備とします。			

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションⅠ	単位数	3
開講時期	○通年・半期	履修区分	○必修・選択	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	677円	副教材・実習費	あり()円程度・○なし
受講をする上での注意	自らの考えを記述したり、ペアやグループでの話し合いをしたりする。また、レポートの作成や発表の活動を取り入れる。				
学習目標	1. 積極的に言語活動を行い、英語によるコミュニケーションを図ろうとすることができる。 2. 聞いたり読んだりして、情報の考えなどを的確に理解することができる。 3. 話したり書いたりして、情報や考えを適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 4. 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化などを理解することができる。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	外国語の4技能5領域(聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり・発表)、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。			小テスト 定期考査 授業中の発言	
思考力・判断力・表現力等	場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。			小テスト 定期考査 授業中の発言	
主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			提出物の提出状況 小テスト及び授業への取り組み状況	
学期		学習内容・方法(予定)			
通年	半期				
前期 中間	中	Get Ready! ①自己紹介②他己紹介③好きなキャラクターの紹介④友だちに質問する。(be動詞、一般動詞、否定文、疑問文) Lesson1: What Did You Do in Japan? 海外からの旅行者が日本での経験を旅行サイトの掲示板に投稿する。(過去形) Lesson2: When Do You Feel Happy? ダイキがクラスメートに自分が熱中しているダンスについて話す。(進行形) Activity1: Pronounce It!-英語らしい発音のしかたを確認する。(音読活動) Lesson3: Onigiri Goes Overseas 日本のおにぎりの海外での人気について、ハルカが学校新聞に記事を書く。(助動詞)			
		Lesson4: Pictograms 東京五輪をきっかけに世界でも一般的になったピクトグラムについて、リョウタがスピーチをする。(不定詞-名詞・形容詞・副詞用法[目的]) Lesson5: Morita Yuko Hospital Facility Dog Handler 病院で子どもたちを癒すファシリテッドッグの日本初のハンドラー、森田さんへのインタビュー(動名詞-主語・補語・目的語) Reading1: Let's Try Riddles! 英語のなぞなぞに挑戦 Activity2: T-shirts for Our Class! クラスTシャツのフレーズを考える。(書く活動・話す活動) Lesson 6: Convenience Stores: Keys to Their Success□ コンビニが商品を売るための工夫について、ハルカが研究発表を行う。(that-節)			
後期 中間	期	Lesson7: High School Aquarium 高校で水族館を運営する水族館部の生徒へのインタビュー 現在完了(継続・経験・完了) Lesson8: Smart Farming□ スマート農業に関するウェブサイトの記事【受け身】 Activity3 Express It! □相手に伝わるように感情を込めて読む。(聞く活動・話す活動) Lesson9: Food Waste 環境・資源食品廃棄の問題について、ダイキが学校新聞に記事を書く。(比較)			
		Lesson10: William and His Windmill 電気もない貧しいアフリカの農村で、独学で発電のための風車を作った少年ウィリアム・カムクワンバの実話(関係代名詞 who, which, that) Activity 4: Write a Paragraph in English! 自分が好きな人・ものについて、まとまりのある文章を書く。(聞く活動・書く活動) Reading 2: Bailey The First Hospital Facility Dog in Japan 日本初のファシリテッドッグ、ベイリーの物語□			
後期 期末	末				

教科名	外国語	科目名	基礎英語	単位数	2
開講時期	通年・(半期)	履修区分	必修(選択)	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	なし	副教材・実習費	(あり)(400)円程度・なし
受講をする上での注意	自らの考えを記述，発表や話し合いをします。				
学習目標	英語の基本語順や中学校で学習した基本文法を身につける事に焦点を当て、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」の言語活動を通して，簡単な情報や考えなどを理解し，表現したり伝え合うことができるようにする。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	外国語の4技能5領域（聞くこと，読むこと，話すこと（やりとり・発表）），書くこと）について，実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通じて，言語の働きや役割などを理解している。			提出物 小テスト 定期考査	
思考力・判断力・表現力等	場面，目的，状況等に応じて，日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について，情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。			提出物 小テスト 定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し，聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら，外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して，自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 言語やその背景にある文化に対する関心を持って，自律的，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			提出物の提出状況 小テスト及び授業への取り組み状況	
学期	学習内容・方法（予定）				
通年	半期				
前期 中間	中 間	【英語の語順】 文字及び符号，アルファベットの活字体の大文字及び小文字，終止符，疑問符，コンマ，引用符，感嘆符などの基本的な符号について，主語＋動詞，主語＋動詞＋副詞（句），否定文・疑問文，There is[are] ～.の文・命令文			
前期 期末		【品詞と語順】 形容詞，副詞，前置詞，名詞を修飾する語句，数えられる名詞，数えられない名詞，不定冠詞と冠詞，代名詞，接続詞			
		【文法】 時制，一般動詞，進行形，未来形，be動詞/do/haveについて，現在完了形，助動詞，受け身，疑問詞といろいろな疑問文			
後期 中間	期 末	【文法】 不定詞，動名詞分詞，関係代名詞，比較，仮定法			
後期 期末		【辞書の活用】 辞書を使って答えよう，意味の判断・イディオム			

教科名	外国語	科目名	韓国語基礎	単位数	2
開講時期	通年・ 半期	履修区分	必修 選択	履修年次	1年次以上
授業難易度	★☆☆☆	教科書代金(予定)	2,600円(予定)	副教材・実習費	あり()円程度 なし
受講をする上での注意	特になし				
学習目標	韓国文化の理解とともに、以下のような能力を身に付けることを目指す。 ①ハングル文字の仕組みを理解し、韓国語の読み書きと発音を理解する。 ②簡単なあいさつ表現・基本的な文章の読み書きやペアでの会話練習を行い、基礎レベルの韓国語の会話を行う。 ③簡単な自己紹介と基礎レベルの韓国語の会話ができる。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	外国語の4技能5領域(聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり・発表)、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。			小テスト 定期考査	
思考力・判断力・表現力等	場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。			単元ごとの読みテスト 小テスト 定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			課題プリントの提出状況 授業への取り組み状況	
学期		学習内容・方法(予定)			
通年	半期				
前期 中間	中 間	1. 韓国語の概要：文字と語順、簡単なあいさつ言葉の言い方 2. 文字と発音：基本母音、基本子音、複合母音、パッチム 3. 音の変化：有声音化、連音化などの発音法則 4. 自己紹介			
前期 期末		5. 指示表現、疑問文と答えの会話表現			
後期 中間	期 末	6. 丁寧表現の否定形 7. 漢数詞(年・月・日など) 8. うちとけた丁寧表現			
後期 期末		9. うちとけた丁寧表現の否定形			

教科名	外国語	科目名	韓国語会話	単位数	2
開講時期	通年 (半期)	履修区分	必修 (選択)	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	韓国語基礎で購入済み	副教材・実習費	あり()円程度 (なし)
受講をする上での注意	「韓国語基礎」を履修済みであること。				
学習目標	韓国語基礎での学習内容を踏まえ、異文化の理解とともに、韓国語表現能力の幅を広げることを目指す。 ①述語文の領域を広め、名詞文と存在文、動詞文と形容詞文を活用し、日常生活で使えるようにする。 ②あいさつ表現、基本的な述語文の作文とペアーでの会話練習を行い、より高いレベルの韓国語能力を身に付ける。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	外国語の4技能5領域（聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり・発表）、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。			小テスト 定期考査	
思考力・判断力・表現力等	場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。			単元ごとの読みテスト 小テスト 定期考査	
主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			課題プリントの提出状況 授業への取り組み状況	
学期		学習内容・方法（予定）			
通年	半期				
前期 中間	中 間	1. 固有数詞(単位名詞を用いる)			
前期 期末		2. 動詞・形容詞文の過去形 3. 進行・希望表現 4. 意思・目的表現			
後期 中間	期 末	5. 授受表現			
後期 期末		6. 格式体敬語 7. 意向を尋ねる表現 8. 勧誘表現 9. より豊かな自己紹介文を作り発表する			

教科名	外国語	科目名	中国語基礎	単位数	2
開講時期	通年・ 半期	履修区分	必修・ 選択	履修年次	1年次以上
授業難易度	★☆☆☆	教科書代金(予定)	2640円	副教材・実習費	あり()円程度 なし
受講をする上での注意	特になし				
学習目標	中国文化の理解とともに、以下のような能力を身に付けることを目指す。 ①簡体字の仕組みを理解し、中国語の読み書きと発音を理解する。 ②簡単なあいさつ表現・基本的な文章の読み書きやペアでの会話練習を行い、基礎レベルの中国語の会話を行う。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	外国語の4技能5領域（聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり・発表）、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識、技能を身に付けている。 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。			定期考査 小テスト	
思考力・判断力・表現力等	場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。			定期考査 小テスト 単元ごとの読みテスト	
主体的に学習に取り組む態度	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			課題プリントの提出状況 授業への取り組み状況	
学期		学習内容・方法（予定）			
通年	半期				
前期 中間	中 間	①ピンインと四声			
前期 期末		②簡単な単語と数字、年号の発音			
		③挨拶の会話			
		④自己紹介			
		⑤ものを尋ねる質問の仕方			
後期 中間	期 末	①買い物のときの会話			
後期 期末		②家族構成を尋ねるときの会話			
		③状態を確認するときの会話			
		④約束をするときの会話			

教科名	外国語	科目名	中国語会話	単位数	2
開講時期	通年・(半期)	履修区分	必修(選択)	履修年次	1年次以上
授業難易度	★★☆☆	教科書代金(予定)	中国語基礎で購入済み	副教材・実習費	あり()円程度(なし)
受講をする上での注意	「中国語基礎」を履修済みであること。				
学習目標	<p>中国語基礎での学習内容を踏まえ、異文化の理解とともに、中国語表現能力の幅を広げることを目指す。</p> <p>①述語文の領域を広め、名詞文と存在文、動詞文と形容詞文を活用し、日常生活で使えるようにする。</p> <p>②慣用的なあいさつ表現、基本的な述語文の作文とペアでの会話練習を行い、より高いレベルの中国語を身に付ける。</p> <p>③中国語検定試験「準4級」にチャレンジすることを目指す。</p>				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	<p>外国語の4技能5領域（聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり・発表）、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。</p> <p>外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。</p>			定期考査 小テスト	
思考力・判断力・表現力等	<p>場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。</p> <p>聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。</p>			定期考査 小テスト 単元ごとの読みテスト	
主体的に学習に取り組む態度	<p>他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。</p> <p>言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>			課題プリントの提出 状況 授業への取り組み状況	
学期		学習内容・方法（予定）			
通年	半期				
前期 中間	中 間	①曜日を尋ねるときの会話			
前期 期末		②お金についての会話 ③お店を訪ねるときの会話 ④旅行などについての会話			
後期 中間	期 末	①状況・時間・状態確認するときの会話			
後期 期末		②通学についての会話 ③アルバイトについての会話 ④休日の過ごし方についての会話			

教科名	家庭	科目名	家庭基礎	単位数	2
開講時期	通年・半期	履修区分	必修・選択	履修年次	1年次以上
授業難易度	★☆☆☆	教科書代金(予定)	585円	副教材・実習費	あり(3000)円程度・なし
受講をする上での注意	新型コロナウイルス感染症予防のため、当分の間、調理を含む実習、密集してのグループ学習、校外学習は極力行わない予定です。原則、教室での授業となります。				
学習目標	<p>家庭生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解と技術を身に付け、家庭や地域の課題を解決する能力を培い、生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養うことにより、家庭や生活を創造する資質・能力を高める。</p> <p>これからの社会を担う一員として消費生活に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、豊かな消費生活を営むための生活の在り方について認識し、消費者として責任を持って行動する能力を高める。</p>				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	家庭の基本的な機能について理解し、生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識、技能を身に付けている。 社会の一員として自立した生活者に必要な知識・技能を身に付けている。			単元テスト 定期考査 観察・実験の実習	
思考力・判断力・表現力等	家族、家庭や地域社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、その解決のために、生活について探究し、生涯を見通して生活を創造している。			単元テスト 定期考査 観察・実験の実習	
主体的に学習に取り組む態度	自立した生活に必要な知識・技能を身に付け、地域社会で共に支え合う社会の実現に向けて、家庭や地域の生活を創造し、主体的に実践しようとしている。			学習活動への取り組み 課題・提出物の状況	
学期		学習内容・方法 (予定)			
通年	半期				
前期中間	中	生涯を見通し主体的に生活するために、家族や地域社会の人々と協力・協働し、実践的・体験的な学習活動を行う。 ・生涯の生活設計 ・青年期の自立と家族・家庭			
前期期末	間	・子どもの生活と保育 ・高齢者の生活と福祉 (夏季休業中の課題として、ホームプロジェクト) ・共生社会と福祉 生活上の課題を設定し、解決に向けて生活を科学的に探究したり、創造する。			
後期中間	期	健康・快適・安全な衣食住の生活を主体的に営むために、実践的・体験的な学習活動を行う。 ・衣生活と自立 ・住生活と自立 (冬季休業中の課題として、ホームプロジェクト)			
後期期末	末	・食生活と自立 持続可能な社会を構築するために、実践的体験的な学習活動を行う。 ・消費生活と経済 ・ライフスタイルと環境 再度生涯を見通す…生活設計			

教科名	情報	科目名	情報Ⅰ	単位数	2
開講時期	通年・半期	履修区分	必修・選択	履修年次	1年次以上
授業難易度	★☆☆☆	教科書代金(予定)	1,022円	副教材・実習費	あり(550)円程度・なし
受講をする上での注意	特になし				
学習目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を身に付ける。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	情報やメディアの特性を踏まえ、情報や情報技術を活用して、問題の発見・解決等の方法を理解している。 効果的なコミュニケーションの実現・コンピュータやデータの活用について理解している。 情報に関する法規や態度・情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している。 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。			単元テスト 小テスト	
思考力・判断力・表現力等	目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、考えることができる。			単元テスト 小テスト	
主体的に学習に取り組む態度	情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して、情報社会に主体的に取り組もうとしている。 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて取り組もうとしている。			学習活動への取り組み 状況・態度 課題の提出状況	
学期		学習内容・方法(予定)			
通年	半期				
前期 中間	中 間	第1章 情報で問題を解決する ※Microsoft Officeを利用した実習を行います。			
前期 期末		第2章 情報を伝える ※Microsoft Officeを利用した実習を行います。			
後期 中間	期 末	第3章 コンピュータを活用する ※Microsoft Officeを利用した実習を行います。			
後期 期末		第4章 データを活用する ※Microsoft Officeを利用した実習を行います。			

教科名	日本語	科目名	日本語 I	単位数	2
開講時期	通年・半期	履修区分	必修・選択	履修年次	1年次以上
授業難易度	★☆☆☆	教科書代金(予定)	なし	副教材・実習費	あり()円程度・なし
受講をする上での注意	日本語を母語としない生徒対象。				
学習目標	学校生活での日本語や日常生活での日本語，学習日本語について，読む・書く・聞く・話すの4技能を総合的に伸ばし豊かな言語活動を行う。				
	評価の観点			評価の方法	
知識・技能	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②日本語表現の能力 ③日本語理解の能力 ④言語や文化についての知識・理解			小テスト(会話，聞き取り，作文) 課題	
思考力・判断力・表現力等	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②日本語表現の能力 ③日本語理解の能力 ④言語や文化についての知識・理解			授業への取り組み状況 小テスト(会話，聞き取り，作文) 課題	
主体的に学習に取り組む態度	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②日本語表現の能力 ③日本語理解の能力 ④言語や文化についての知識・理解			小テスト(会話，聞き取り，作文) 課題の提出状況	
学期	学習内容・方法(予定)				
通年	半期				
前期中間	中 間	1 「日本語 I」の授業について 2 日本語の発音 3 指示の言葉 4 あいさつ，会話表現，数字 (読み，書き，会話表現，作文)			
前期期末		5 毎日のあいさつと会話表現 6 数字・助数詞等日常生活に必要な言葉			
後期中間	期 末	7 接続のいろいろ 8 副詞，副詞的表現 9 会話練習 (読み，書き，会話表現，作文)			
後期期末		10 副詞，接続詞，会話表現のまとめ 11 動詞のフォーム (読み，書き，会話表現，作文)			